

2017年度

茨城大学・茨城県・茨城産業会議

連携講演会

“ゲートウェイ”としての
茨城の可能性

動いて、走って。

茨城の未来へ、アクティビティを進めよう!

北関東道や圏央道の延伸・開通など、港湾、空港を含めて、茨城県の交通やインフラの整備が進む中、地域の活性化をどのように進めたらよいか、新しい発想による取り組みが期待されます。茨城や全国の事情に詳しいご専門の方、現場での取り組みを行っている方などからお話をうかがい、さまざまな角度から、今後の連携や協働の可能性を考えていきたいと思います。

各方面から多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

2017年 9月6日[水]
13:30~16:30 [受付 13:00から]

入場無料

事前申込制

お申込みにつきましては裏面をご覧ください。

PROGRAM プログラム

開会挨拶 13時30分~ 茨城大学理事・社会連携センター長 影山 俊男

基調講演

北山創造研究所の街づくり
あの手この手

13時40分

北山創造研究所 代表
北山 孝雄氏

テーマ講演①

茨城県内のアウトドア・アクティビティ、これまで、これから

14時35分

株式会社 ナムチェバザール 代表取締役
和田 幾久郎氏

テーマ講演②

民俗学からみる茨城 -生きられたものとしての伝統文化-

14時55分

茨城大学人文社会科学部准教授
塚原 伸治氏

休憩

15時15分

パネル討論

15時30分

[パネリスト]
地域振興 北山 孝雄氏
スポーツ 和田 幾久郎氏
文化資源 塚原 伸治氏

閉会

16時30分

会場
水戸京成ホテル

〒310-0011
茨城県水戸市三の丸1-4-73 Tel.029-226-3111
水戸駅北口より徒歩3分〈公共交通機関のご利用にご協力願います。〉

どなたでもご参加いただけます

主催：茨城大学・茨城県・茨城産業会議

お問い合わせ

茨城大学社会連携センター

茨城県水戸市文京2-1-1 Tel.029-228-8585
E-mail: syaren-apply@ml.ibaraki.ac.jp Fax.029-228-8495

講師プロフィール

北山創造研究所 代表
北山 孝雄 (きたやま たかお)



北山 孝雄氏

どんな生活を実現したいかを発想の原点に、人を軸にしたまちづくり、くらしづくりを手掛ける。代表的なプロジェクトにサンストリート亀戸、海老名ビナウォーク、日本橋まちづくり、横浜ベイクォーター、ココラフロント、東急ハンズ、群馬県草津温泉「御座之湯」「湯路広場」「熱乃湯」、両国広小路、肥後銀行新本店。主な著書に「まちづくりの知恵と作法」「24365東京」「このまちにくらしたい うずるまち」「北山創造研究所のあの手この手」。「2007毎日デザイン賞」受賞。

株式会社 ナムチェバザール
 代表取締役
和田 幾久郎 (わだ いくお)



和田 幾久郎氏

水戸市出身。高校時代にアメリカワシントン州シアトルシヨウウッド高校に留学。この時にアメリカ人の自然に対する考え方やライフスタイルに感銘し、後のアウトドア事業の展開に大きな影響を受けた。1994年に株式会社祐月に入社し、同年アウトドア事業部を新設しアウトドアプロショップ「ナムチェバザール」をオープンさせる。2009年に環境NPO法人WaterDoorsを設立し、Eボートを使った環境教育や毎月千波湖、桜川沿いのゴミ拾いを実施して環境美化活動をしている。現在水戸にペロタクシー(自転車タクシー)を走らせるべく活動中。

茨城大学人文社会科学部准教授
塚原 伸治 (つかはら しんじ)



塚原 伸治氏

千葉県佐原市(現・香取市)出身。筑波大学大学院博士課程、日本学術振興会特別研究員、東京大学東洋文化研究所特任研究員を経て、2015年より茨城大学准教授。専門は民俗学。2004年より千葉県香取市、滋賀県近江八幡市、福岡県柳川市において、老舗の人々の生活や歴史に関するフィールドワークを続けている。近年は商店街の歴史研究も手がけている。主要業績に『老舗の伝統と〈近代〉-家業経営のエスノグラフィー-』(2014年、吉川弘文館)、共著に『「二〇世紀民俗学」を乗り越える』(2012年、岩田書院)などがある。

お申込みについて

事前のお申込みをお願いいたします

【申込方法】下記にご記入の上FAX頂くか、電子メールにてお申込みください。

【申込期限】平成29年8月28日(月) [期限後は、下記までお問い合わせください]

FAXでのお申込みが
 便利です。

お知らせいただく内容

企業・団体・自治体名等		
ご連絡先 (電話・メールアドレスなど)	電話:	
	E-mail:	
役職名	氏名	



【お申込み・お問合せ先】
茨城大学社会連携センター 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
 TEL.029-228-8585 FAX.029-228-8495
 mail:syaren-apply@ml.ibaraki.ac.jp

駐車台数に限りがございますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願いいたします。